

1 生物多様性とは？

樹林や水辺などの環境には、様々な生きものが生息・生育しています。
こうした生きものの命は、それぞれ直接的、間接的につながりあっています。
この「生きものたちの豊かな個性」と「つながり」のことを、「**生物多様性**」といいます。

3つのレベルの「生物多様性」

①生態系の多様性
森・里・川などいろいろな
タイプの生態系があります。



②種の多様性
鳥・魚・植物などいろいろな
種類の生きものがいます。



同じサワガニでも、
いろいろな色の個体がいる

③遺伝子の多様性
同じ種でも異なる遺伝子を持ち、
形や模様、生態などに多様な個性があります。

東京にも豊かな自然環境があり、そこには多様な生きものがいます。



島しょ



森林



里山



公園



校庭（芝生）

私たちの暮らしに欠かせない「生物多様性」

〈生物多様性による恵みの例〉

野菜などの農産物は、
落ち葉などが分解された
豊かな土壌で育つ



衣料品は、羊などの
動物繊維や植物繊維
などから作られる



鎮痛剤に使われるアス
ピリンは、植物の成分
から発見された



「生物多様性」の危機

第1の危機

開発や乱獲による
種の減少・絶滅



オニヤンマ

第2の危機

人による手入れの不足による
自然の質の低下

第3の危機

外来生物などによる
生態系のかく乱



ブラックバス

このように、私たちの暮らしは、様々な生きものにより支えられていますが、現在、我々に恩恵を与えてくれる生物多様性が、人間の活動等の影響により危機にさらされています。

クイズ：地球上では、1年間にどれくらいの種が絶滅しているのでしょうか

①150種 ②5000種 ③4万種 ④100万種 (正解は裏面をみてね👉)

2 東京都の取組

地球上の種の絶滅のスピードは、1年間で4万種程度とされています（地球上の生物は3,000万種と推定）。絶滅のスピードは、100年前は1年間で1種と推定されており、近年、急速に加速しています。そして、今もなお、たくさんの生きものが絶滅のおそれがあり、生物多様性は危機に瀕していると言えます。

（クイズの正解👉③4万種）

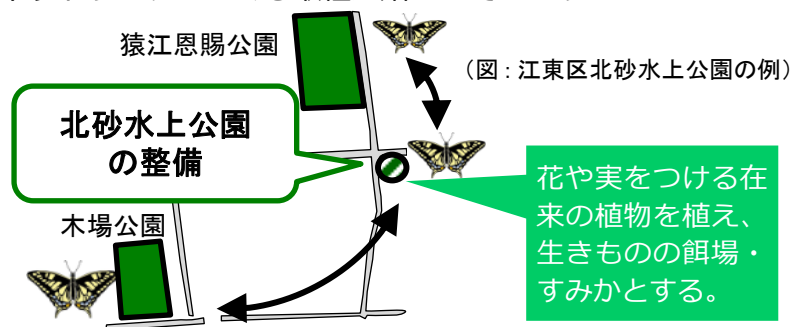
（出典：環境省平成22年度版 環境・循環型社会・生物多様性白書）

第1の危機 ⇐市街地で生物多様性に配慮した緑化を進めています

東京都は、新しく緑地をつくる際に、この土地にもともと住んでいた動物の生息空間となる緑化を推進しています。ビルや住宅などで緑が分断されてしまった市街地でも、このような緑地整備を進めることで、生きもののネットワークが形成されます。

生きもののネットワークの創出

東京都内でも、生態系に配慮した緑化を行い、生きもののネットワークをつくる取組が始まっています。



校庭芝生化

学校の芝生や屋上・壁面の緑化も、地域における多様な生物の生息・立ち寄り場所の創出につながります。



芝生にきたトンボ

第2の危機 ⇐緑地を保全するボランティア活動を進めています

里山や人工林は、下草刈りや間伐など人の働きかけによって良好な維持管理がなされ、多様な生きものが育まれてきました。

手入れされていない里山



手入れされた里山



下草刈りなどの手入れをしないと、生きものの生息環境が悪化します。

森林・緑地保全活動情報センター

森林や緑地保全に関するボランティアやイベントの情報を発信します。



保全活動を体験したい方は
下記までお問合せください
電話:042-595-7805

第3の危機 ⇐外来生物の対策を進めています

海外からの移入やペットの放逐などにより、もともとその地域には生息・生育していなかった「外来生物」が野生化し、日本や東京固有の生きものが脅かされている場合が多くあります。



アライグマ
（外来生物）



トウキョウサンショウウオ
（東京にいる希少な生物）

捕食

東京都では、外来生物による被害の紹介や、特に被害が重大な外来生物の捕獲などを行っています。

<お問合せ先>

東京都環境局自然環境部計画課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 電話 03-5388-3548